

北京の朝市に出かけよう

北京事務所

活気にあふれる朝市

週末によく、近所の朝市に足を運ぶのですが、朝市は北京市民の生活を垣間見ることができる絶好のスポットです。市場には北京郊外から運ばれた新鮮な野菜や果物を中心にたくさんのものが所せましと並べられ、活気ある大きな声が飛び交い、いつもたくさんの人でにぎわっています。

中国は広く、北と南で、また沿岸部と内陸部でも気候が大きく異なり、さらには東南アジアなどの近隣諸国から入ってきた果物も売られているので、ここでは季節が感じられません。

日本ではなかなか目にしない珍しいものを覗いたり、買い物のやりとりの様子を眺めていると興味がつきず、時間が経つのも忘れてしまいます。その品数の多さとスーパーよりも断然に安い価格に加え、市場の独特な雰囲気も手伝って、思わず買いすぎてしまうこともしばしばです。日本で高価なマンゴーも、この日は1kgわずか14元(200円前後)と格安で、思う存分食べられることからちょっぴり贅沢な気分にも浸れます。

また、市場に併設して、麺や肉まん、揚げパン、豆腐、お餅等のお店もあり、ここで揚げたての揚げパンを食べながら搾りたての豆乳を飲むことも、私が朝市に行く楽しみの一つです。



野菜・果物・肉・調味料等がズラリとならぶ朝市

公園での一コマ

この朝市は公園の中にあるのですが、ここでもたくさんの人たちが散歩や卓球、バトミントン、ローラースケート、太極拳、踊り、健康器具を使った体操、凧揚げ、歌、おしゃべり等を楽しみ、また、退職をしたお年寄りたちが安く髪を切っている風景も見られます。特に歌については、一人の先導のもと、大人数が呼吸を合わせて熱唱しており、歌にかかる意気込みが伝わってきます。

公園では、心に余裕を持ちながら、家族や友人たちと一緒に生活を楽しんでいる様子に触れられます。



ポップな曲に合わせて踊る人たち



指導者を囲みながら熱唱

ところで、市場といえばほかにも、日用品から衣類、電化製品、家具、食品までここに来れば何でも揃う、とにかく巨大な卸売市場や、骨董品だけを扱う専門市場等、たくさんの異なった形態の市場があります。

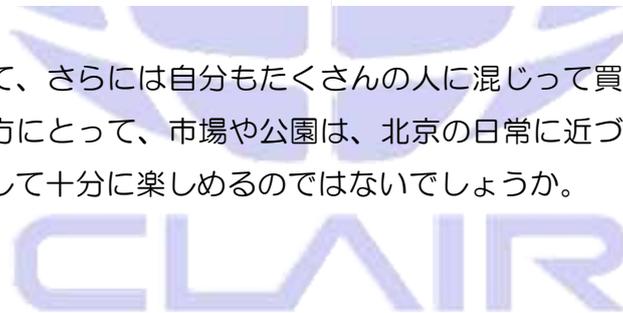


卸売市場（家電棟）



専門市場（骨董品）

見て感じて味わって、さらには自分もたくさんの人に混じって買い物をする、北京に短期でお越しになった方にとって、市場や公園は、北京の日常に近づくことができる、参加型の観光スポットとして十分に楽しめるのではないのでしょうか。



(竹中所長補佐 鳥取県派遣)